

2月10日（月）全校朝の会「聴くについて」「はきものをそろえよう」

学校長から、全校朝会で「聴くについて」の話がありました。（一部抜粋）

毎日、寒い日が続きますが、みなさん元気にがんばってくれています。

2月5日の、150周年記念事業もーちゃんとの共同作品作りでも、みなさん一人一人の思いが詰まった素敵な作品が仕上がりとてもうれしかったです。よく頑張りましたね。

また、2月8日は、金管クラブのみなさんが、とても素敵な演奏を披露してくれました。感動しました。なんと、40人、全校児童の約5分の1の子どもたちが参加してくれ、市長さんも褒めてくださっていました。

それから、先日表彰した飛び出し坊やとマンホールですが、みなさんも、もう見てくれたかもしれませんが、まちの中に実際につけられています。すばらしいですね。

さらに、市制施行 20 周年を記念し、「葛城市」を題材にした短歌が、募集されました。短歌とは、五・七・五・七・七の三十一音でつくられる、日本独特（どくとく）の短い詩です。葛城市民歌壇には、3年4年のみなさんが、応募してくれました。応募した3年4年のみなさんの作品を全部読みました。どの作品も素晴らしかったです。そして、4年のみなさんとは、校長先生も一緒に短歌作りをしたので、とても楽しかったです。その中で、4人のお友達が、入賞しましたので、披露しておきます。

3年

優秀賞 かつらぎし ぼくのふるさと おめでとう おばあちゃんも かつぎうまれ

選者賞 かっこいい たいまのけはや すもうかん 土俵にのって しおをまいたよ

4年

選者賞 二上山 めだけとおだけ 登りつつ 友と掛け合い 友との笑い

選者賞 美しき 豊かな景色 二上山 ふもとに見える 我が小学校

31文字の中に、それぞれの作った人の思いが、伝わってきますね。すばらしいです。

さて、今日は「聴く」の話をしたいと思います。

4月から、相手のことを思ってしっかりと聴きましょうということは、お話ししています。

「聴く」という漢字を見てみましょう。成り立ちを見てみますと、「耳」と「目」と「心」を（+）プラスすると『聴く』という漢字になります。つまり、聴くは、耳と目と心で相手の話に耳を傾けながら聴くということです。

「聴く」という漢字には、そのつくりから「十四の心を持って耳を傾ける」という見方もあります。

14の心には、どんな心があるか分かりますか。

「」心で聴くの「」に入る言葉を考えてみましょう。

例えばどんな言葉がありますか？

①美しい心で聴く②素直な心で聴く③広い心で聴く④楽しい心で聴くなど、たくさん考えられます。

そこで、校長先生からみなさんに、宿題です。「」の言葉を考えてみましょう。辞書を引いてもかまいません。「」に入る14の心で聴くを考えてみましょう。それと、もう一つ、これは、自由課題ですが、「きく」には、いろいろな「きく」があります。

「聞く」「聴く」「訊く」の違いも、調べてみましょう。

次の全校朝の会で、また、みなさんにたずねてみたいと思います。

みなさんの解答を楽しみにしています。これで校長先生のお話を終わります。



「はきものをそろえよう」

計画委員会の子どもたちが考えて、「はきものをそろえよう」週間に取り組んだ結果を発表してくれました。二上山に、たくさんの「はきものをそろえる」ことに気がつけて取り組んだ花を咲かせることができました。



計画委員会の子どもたちが「はきものをそろえよう」の結果を伝えている様子



↑ 花が咲いた二上山
「はきものをそろえて二上山を豊かにしよう」